



聖マリアンナ医科大学病院

聖マリアンナ医科大学病院 リハビリテーションセンター 平木 幸治



1. 病院紹介

当院は1974年に開設され、神奈川県川崎市に立地する許可病床955床の特定機能病院です。2023年1月に創立50周年記念事業の一環として新入院棟が完成し、2025年1月には新外来棟、エントランス棟がリニューアルオープンする予定となっています。

2. CKD 患者に対するチーム医療

当院では2006年に糖尿病性腎症外来を開設し、次いで2011年にはCKDの教育入院を、そして2024年1月からはCKDの教育外来を開設し、多職種によるチーム医療によってCKD患者の重症化予防に取り組んできました。その他にも、多職種による腎臓病教室やウォーキング教室も年に数回行っています。

3. CKD 教育入院



当院ではステージG3b以降のCKD患者を対象としたCKD教育入院を1週間のプログラムで行っています。教育入院の目的はCKDの進展抑制・遅延のための学習(日常生活の注意点、食事、薬剤、運動など)とCKDに関連する合併症の精査になります。また、将来的に腎代替療法の導入が必要な患者に対しては血液透析、腹膜透析、腎移植に関しても情報提供を行っています。この教育入院は医師、看護師、管理

栄養士、薬剤師、臨床工学技士、理学療法士、ソーシャルワーカーの多職種により重症化予防チームを結成し、定期的なカンファレンスを行いながら運営しています。その効果としてもCKDの進行を長期的に抑制する効果、CKDステージG5から透析導入までの期間を延長させる効果、透析導入後の良好な生命予後へ与える効果について報告してきました。

4. ウォーキング教室

2016年より運動療法の実践編として保存期CKD患者を対象としたウォーキング教室を5月と11月の年2回の頻度で行ってきました。このウォーキング教室は、腎臓・高血圧内科の医師と理学療法士が中心となり1時間程度の講義(運動療法の必要性や自宅で可能なレジスタンス運動の実施)を行った後に、歩数計を装着して多摩川の河川敷を1時間程度、歩数にして約5,000歩程度のウォーキングを行っています。普段、運動習慣のないCKD患者に参加してもらい、多摩川の綺麗な景色を見ながら、楽しく運動することで、運動療法を始めるきっかけ作りを目的にこのような活動を行っています。



聖マリアンナ医科大学病院

〒216-8511

神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1

TEL: 044-977-8111

URL: <https://www.marianna-u.ac.jp/hospital/>